

これからの千葉市と新たな大都市制度について

千葉市は、政令指定都市（政令市）移行から30年の間に大きく発展してきました。一方で、現在の政令市制度には課題があり、今後の更なる発展のためには、新たな大都市制度の創設が必要です。

＜なぜ、新たな大都市制度が必要な？現在の政令市制度の課題＞

■ 大都市はお金がかかる？

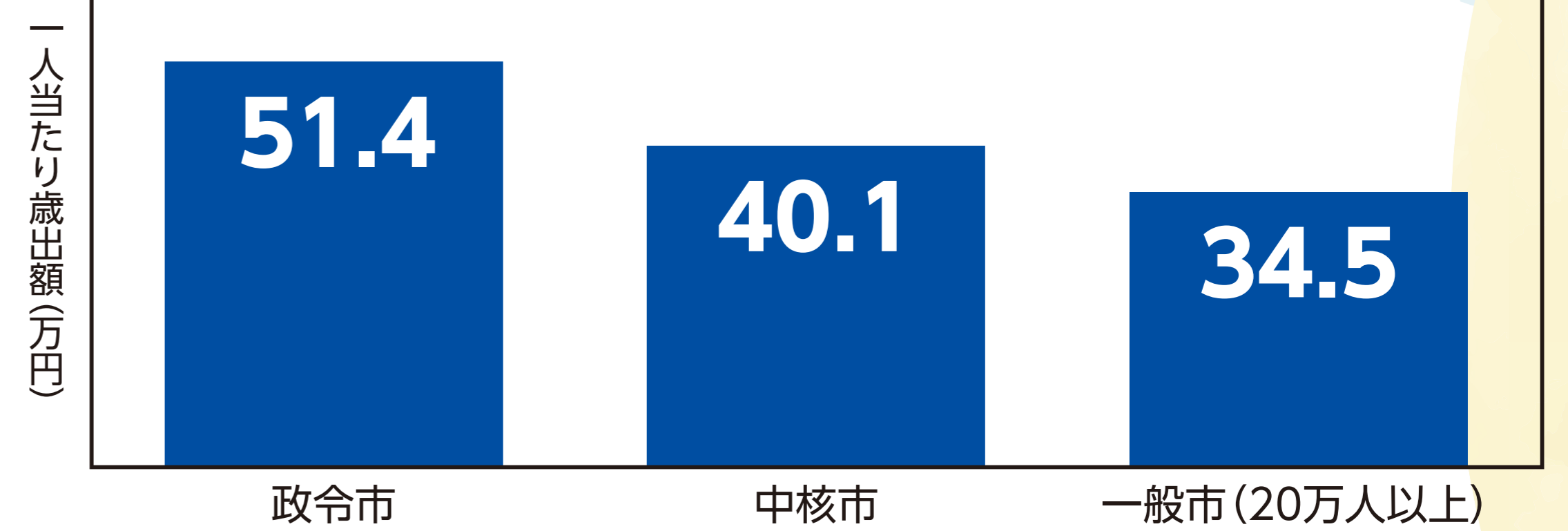
～大都市ならではの財政事情～

- 政令市は、地域の中心都市として発展していますが、一方で、人口や産業の集積により、福祉や都市インフラの整備・維持など、一般市よりも多くのお金がかかっています(右図参照)。



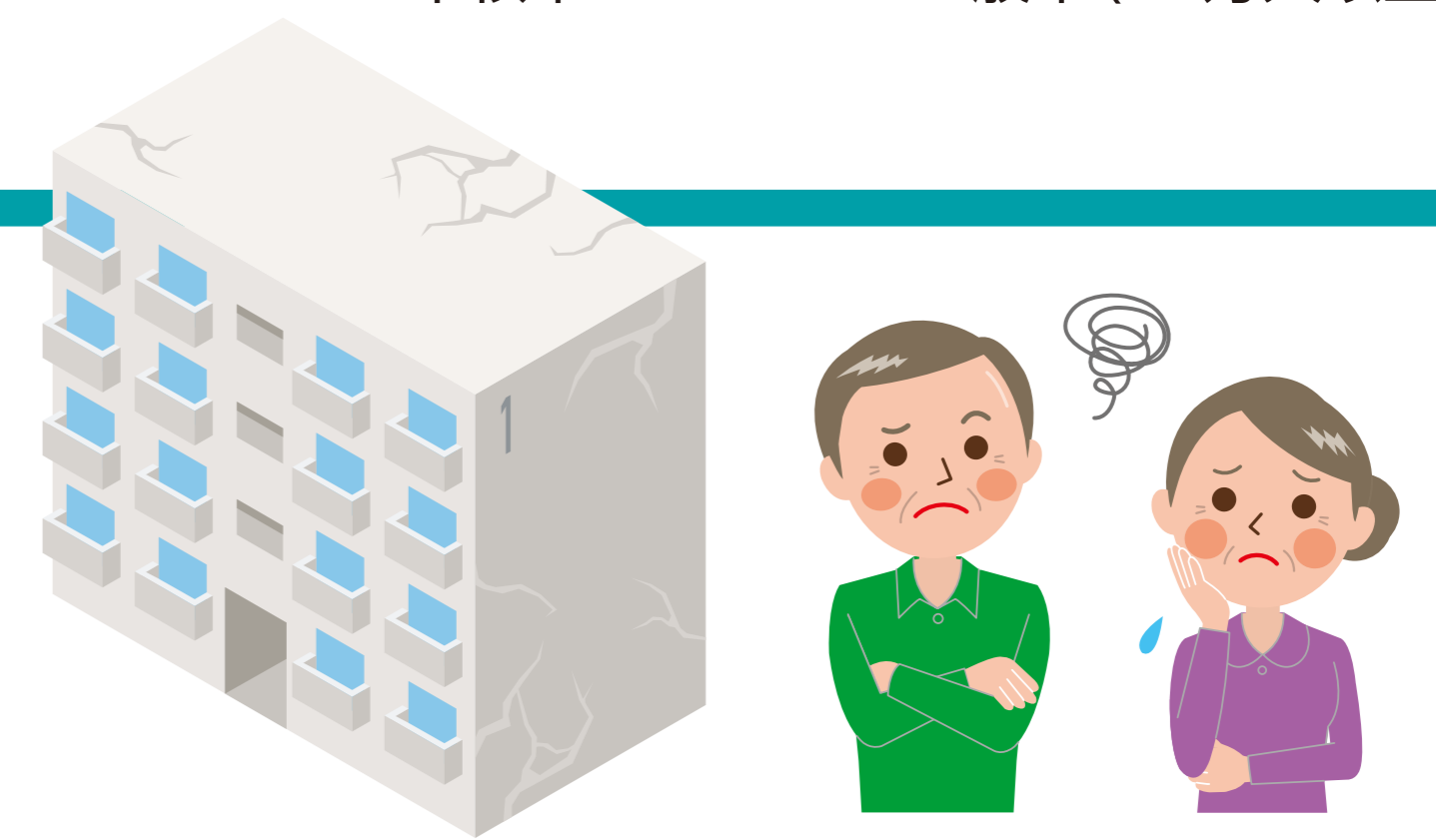
都市規模別歳出額（人口1人当たり）

(令和元年度市町村別決算状況調より作成)



■ 将来的にも、大都市には解決すべき課題があります

- **インフラの老朽化**
高度経済成長期に整備されたインフラが、急速に更新の時期を迎えます。
- **急速な高齢化**
特に政令市においては、急速な高齢化が見込まれています。



■ 仕事に見合ったお金がもらえない？

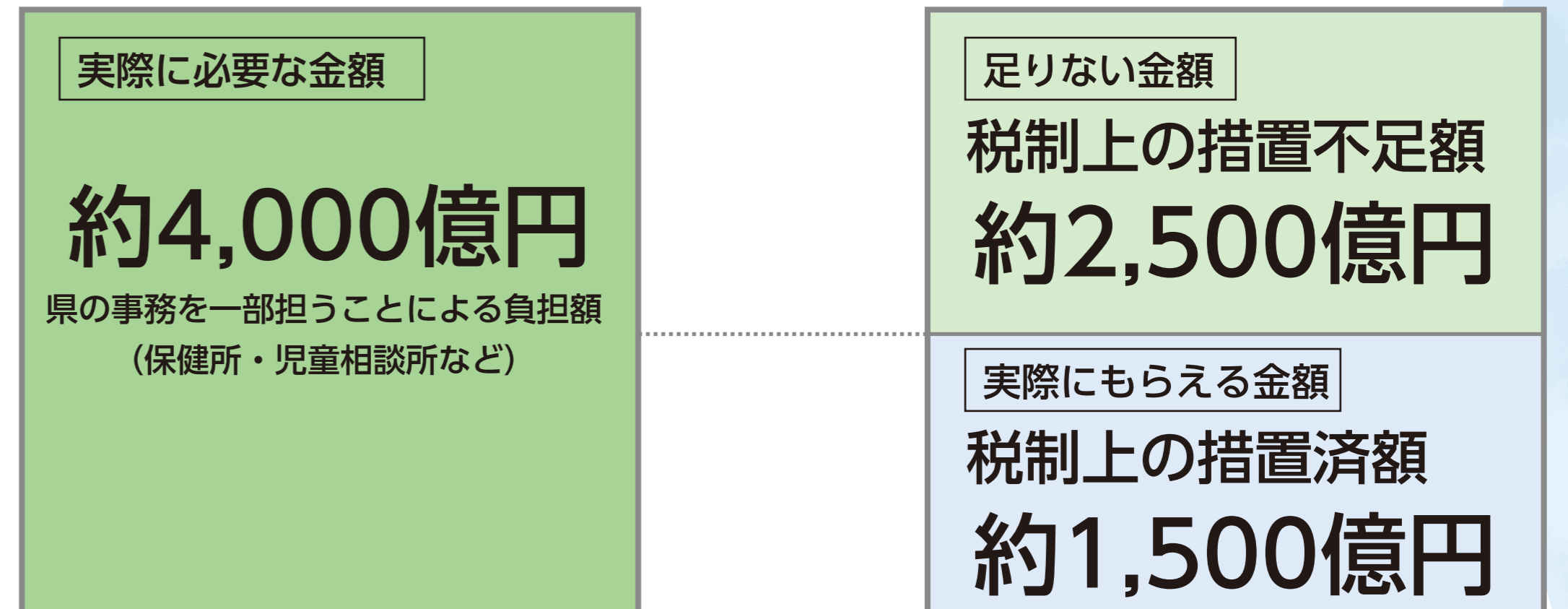
～不十分な税制措置～

- 政令市は道府県に代わって多くの事務を処理⇒しかし、役割や仕事量に見合うだけのお金がもらえていません(税制措置が不十分)。足りないお金は、政令市が負担しています。



〈大都市特例事務に係る税制上の措置不足〉

(全政令市合計 令和3年度予算ベース)



(令和4年度「大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望」より作成)

＜大都市の課題を解決する「特別自治市制度」とは？＞

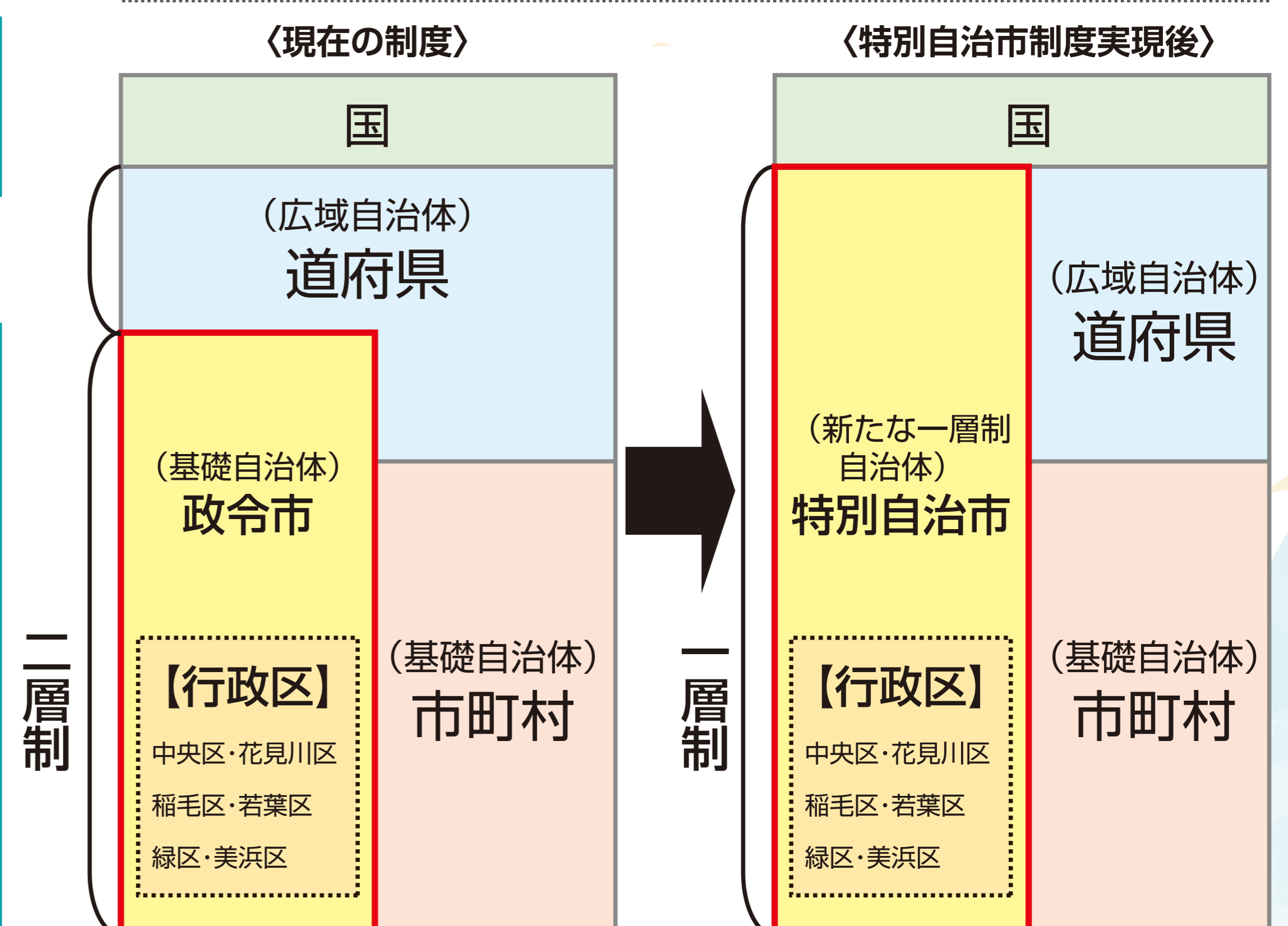
■ 特別自治市制度とは？

道府県の仕事が市が一手に担う、一層制の新たな大都市制度です。

■ 特別自治市制度が実現するとどうなるの？

- ① 役割や事務量に見合う公平な税制が適用されます。
- ② 国の業務を除き、**全て特別自治市で決められるようになります。**
市民の皆様の声を、自らの判断で、より効果的かつ迅速に反映させ、市民生活が向上します。
- ③ 道府県が、特別自治市以外の市町村をよりサポートしやすくなり、バランスよい発展に繋がります。

特別自治市制度移行のイメージ



● 千葉市は、今後の更なる発展のために、大都市の課題を解決する特別自治市制度の構築に向け、他の政令市とともに取り組んでいます。